

中学校

- 学級づくり
- 授業づくり
- 個別の指導計画を生かした支援
- 好意に満ちた教師の言葉がけ

中学校～学級づくり

教室環境の工夫（第1学年）

【実態】

- 雑巾の使う場所や、かける場所が乱れることが予想されました。

【背景】

- 雑巾の使い方が十分身に付いていない傾向がありました。

【指導や支援の工夫】

- 雑巾を使う場所を色分けし、言葉も表示しました。また、かける場所も固定しました。



【その時点の状況】

- 雑巾が、いつも整理整頓されるようになりました。

教室環境の工夫（第2学年）

【実態】

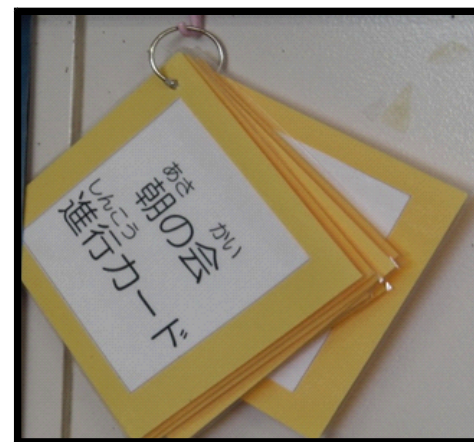
- 朝の会で、日直がスムーズに進行できない生徒がいました。

【背景】

- 途中で内容を忘れてしまい、どうしていいかわからず傾向がありました。

【指導や支援の工夫】

- 「朝の会」の進行ができるよう、進行カードを教室内にぶら下げておくことにしました。



【その時点の状況】

- 日直の時、自信をもって朝の会の進行できるようになりました。

中学校～学級づくり

教室環境の工夫（第3学年）

【実態】

- 基礎となる内容を定着することが難しい生徒がいました。

【背景】

- すぐに飽きたり、集中力が続かない傾向がありました。

【指導や支援の工夫】

- 教室の中の、日常的に目に触れる場所に、英単語カードをぶら下げておくことにしました。英単語カード以外のカードも下げました。



【その時点の状況】

- 休み時間など、友達同士で取り組むようになりました。

教室環境の工夫（第3学年）

【実態】

- 身の回りの整理整頓が苦手な生徒がいました。

【背景】

- 柔軟に対応することが苦手な傾向がありました。

【指導や支援の工夫】

- 教室や廊下で使用するハンガーやフック、棚などに出席番号を貼り、生徒一人一人が使用する場所を決め、柔軟に対応することを最小限にしました。



【その時点の状況】

- 使用する場所や物を決めたことで、安心して学校生活を送れることにつながりました。

中学校～授業づくり

音読の指示の工夫（第1学年）

【実態】

- 音読の時に、どこを読むのか、分からない生徒がいました。

【背景】

- 授業中の指示や説明を聞き流してしまう傾向がありました。

【指導や支援の工夫】

- 音読の指示を出す時は、読み始めのページを板書するようにしました。



【その時点の状況】

- どこから読むのかを聞いてくる生徒はいなくなりました。

避難訓練の工夫（第2学年）

【実態】

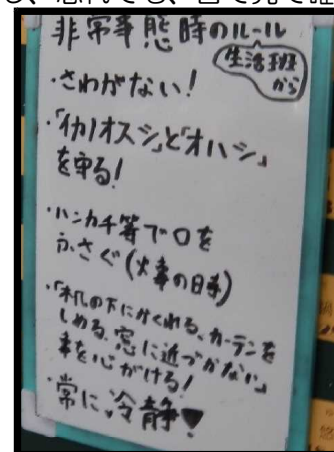
- ルール等を言葉で伝えても失敗する生徒がいました。

【背景】

- 言葉を意識し続けるのが難しい傾向がありました。

【指導や支援の工夫】

- 避難訓練の前に、ホワイトボードに大切なルールやマナーを書いて掲示し、忘れても、目で見えて確認できるようにしました。



【その時点の状況】

- ホワイトボードに書かれている内容を覚えようとし、ルールやマナーを守れるようになってきました。

中学校～授業づくり

歴史の学習の工夫（第1学年）

【実態】

- 歴史に関する学習事項について、相互の関連を理解することが苦手な生徒がいました。

【背景】

- 歴史に関する学習事項を関連付けて示していませんでした。

【指導や支援の工夫】

- 時代ごとに学習事項を整理し、生徒に示すようにしました。

時代	政治	外交	文化
飛鳥時代	聖徳太子の政治 推古天皇を中心とする天皇集権国家を目指す（太子は摂政）	遣隋使 中国の進んだ文化を日本へ	飛鳥文化 中国の影響を受けた仏教文化

【その時点の状況】

- 事柄を整理して示すことで、歴史上の出来事が影響し合っているという関連性を理解できるようになりました。

歴史の学習の工夫（第1学年）

【実態】

- 歴史の流れがつかめず、用語の理解が難しい生徒がいました。

【背景】

- 覚えることを整理して示していませんでした。

【指導や支援の工夫】

- 時代のまとまりごとに、5W1Hを使い、歴史の出来事を流れて示すことにしました。

（例）

- ・いつ 1600年
- ・どこで 関ヶ原（岐阜県）
- ・だれが 徳川家康（東軍）と石田三成（西軍）
- ・何を 関ヶ原の戦い
- ・なぜ 秀吉亡き後の天下支配する主導権争い
- ・結果 東軍が勝ち、家康の天下支配が進んだ

【その時点の状況】

- 歴史的分野の学習の用語が定着するようになってきました。

中学校～授業づくり

授業中の指示の工夫（全校）

【実態】

- 教師の指示を聞き逃すことが多い生徒がいました。

【背景】

- 教師の指示が徹底していない面がありました。

【指導や支援の工夫】

- 指示の言葉を吟味し、指示したあとに確認するようにしました。

教科書△△ページを開きます。

問1を指でおさえてみましょう。

指でおさえたところを隣同士で
確かめましょう。



【その時点の状況】

- 指示の言葉を吟味し、指示したあとに確認することで、教師の指示を聞き逃すことが少なくなりました。

授業全体の配慮の工夫（全校）

【実態】

- 授業に集中できない生徒がいました。

【背景】

- 教師の配慮が十分でないことがありました。

【指導や支援の工夫】

- 「校内研修プログラム」の「授業づくり」の研修シート試案をもとに、授業中の教師の配慮を確認し、どの教科でも取り組むこととしました。

全校で確認した授業中の配慮

- 授業のスケジュールを必ず板書し、終わったことから消していく。
- 「教師の話聞く」「板書をノートに写す」等、一度に2つのことを指示しない。
- 「課題」と「まとめ」はしっかり板書し、四角で囲む。
- 指示する時は、「○分を行います」「○回練習します」と終わりを伝える。
- 時間の目安は、タイマーだと、その音で集中できなくなる生徒もいるので、カードで「あと何分」と示す。

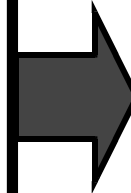
【その時点の状況】

- どの教科の授業でも統一して取り組んだことで、生徒が集中して取り組むようになってきました。

中学校～個別の指導計画を生かした支援

個別の指導計画（Cさん）

生徒のよさ（○） 学習や生活上、困難なこと（△）		長期目標 （１年後）	
○ 身体的には健康で、性格も明るく活発である。 ○ 数学と体育は好きである。 △ じっとしてられない。 △ 好きなことには取り組むが、作業が必要なことは最初から取り組まない。 △ 教師に対する好き嫌いがはっきりしており、苦手だと思う教師には反抗的になることがある。		・落ち着いて学習に取り組むことができる。 ・苦手だと思う教師に反抗的にならないようにする。	
短期目標 （１～３か月後）	場 面	指導や支援の 内容や方法	評 価
・数学と体育を中心に、５０分授業のうち、３０分集中して取り組める。	・授業中	・数学や体育は、模範解答や模範演技として紹介するなど、出番をつくる。 ・学級全体に対し、課題をスモールステップに分けて示し、できた時は認める。	・まだ課題はあるが、数学では、２０分程度、集中して取り組めるようになってきている。
・苦手だと思う教師に対し、１日１回話す前に気持ちを落ち着かせてから話すようにする。	・学校生活全般	・言動の仕方の手本を見せる。 ・学級全体に対し、腹が立った時は、すぐ話すのではなく、３つ数えてから話すよう促す。	・まだ課題はあるが、その頻度は減少していて、本人によると、反抗的になるのは１週間に１回までにとどめている。



よさを生かした支援

【指導や支援の工夫】

- 保健体育のマット運動では、模範演技の場面を設定したところ、見事な演技をしたことから、全員の手本となった。
- 数学では、計算問題を早く正確に解けることから、前に出て計算の仕方を説明する場面を設定したところ、分かりやすい説明であったことから、計算の仕方が分からなかった生徒の理解が進んだ。

【その時点の状況】

- 学級全員に認められたことから、笑顔が多くなり、苦手なことにも取り組もうとする態度がみられるようになりました。
また、まわりの生徒から頼りにされる場面も、多くなりました。

中学校～好ましくない言葉がけを好意に満ちた言葉がけに変える例

	好ましくない教師の言葉がけ	好意に満ちた教師の言葉がけ
1	「はやく、こっちを見なさい！」	「こちらに目を向けてください。」
2	「提出期限をどうして守れないんだ！」	「どうしたら提出期限を守れるか、先生と一緒に考えましょう。」
3	「どうして何も言わないんだ！」	「どう思ったか、次の中から選んでごらん。」
4	「時間かかりすぎ！」	「丁寧に取り組んでいたんだね。」
5	「きちんと立ちなさい。」	「背筋を伸ばしてみましょう。きっと素敵だよ。」
6	「いつになったら、静かになるんだ！」	「音を立てないで、さあ、やってみましょう。」
7	「どうしてそうなったんだ！」	「落ち着いてから、ゆっくり話そう。」
8	「ここ、間違ってる！」	「ここまではできているね。あと、〇〇ができるといいね。」
9	「またA君か、何回言ったら分かるんだ！」	「いやなことがあったんだね。まず座って。話を聞きますよ。」
10	「A君、早く答えなさい！」	「今、頭に浮かんでいる言葉を聞いてから、先生は話すよ。」